

河合塾千種校 新本館



外観

「河合塾」は、名古屋市を本拠とし、全校で展開されている日本の大手予備校。このたび、本部が置かれている千種校内に新本館を新築し、2022(令和4)年の春に開校した。JR・市営地下鉄「千種駅」より徒歩1分の立地。



1Fトイレ
大便器コーナー

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、さらに上部を塞ぐことで、盗撮対策など防犯性の向上を図るとともに、個室感の高いブースとなっている。



2Fバリアフリートイレ

2Fに設置されたバリアフリートイレには、必要な器具がパッケージ化されたコンパクトバリアフリートイレパックを採用。車いす利用者だけでなく、オストメイトにも配慮された仕様となっている。



1Fエレベーターホール
トイレ入口



1Fエレベーターホールには、エレベーターを挟んだ両サイドに、男性トイレと女性トイレを設置している。

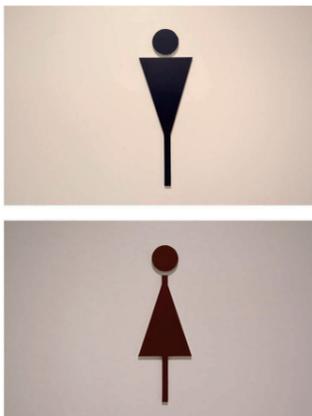


1Fトイレ 大便器ブース

大便器はすべて洋式便器で、床の清掃性が高く連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式採用し、ウォシュレットを設置。ブース内には防犯対策として非常ボタンを設置している。



トイレサイン



トイレのサインは、空間の雰囲気にあわせたシンプルなデザイン。



1Fトイレ 洗面コーナー

洗面コーナーの水栓は、衛生的で節水効果も図れる自動水栓を採用。鏡裏の間接照明が、落ち着いたやかな雰囲気を演出している。



1Fトイレ
小便器コーナー

清掃性のよい壁掛型の自動洗浄小便器は、きれい除菌水機能を備えた超節水タイプを採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置している。



大ラウンジ

4Fには、大自習室や自然科学ルームのほかに、カフェのような雰囲気の大ラウンジがあり、食事や息抜きなど、休憩スペースとして利用することができる。

1Fトイレ図面

シンプルで、使いやすい動線のトイレレイアウトとなっている。



水まわりの特長

建物の特徴

「河合塾(かわいじゅく)」は、1933(昭和8)年創設された「河合英学塾」を前身とし、愛知県名古屋市を本拠とする日本の大手予備校、および同予備校(専修学校・各種学校)を運営する学校法人である。新本館は、河合塾の本部が置かれている千種校内に新校舎として建てられ、2022(令和4)年の春に開校した。校舎は、職員スペースを教室フロアに分散配置させることで、職員が学生の学びをサポートしやすい環境を整備。また、ラウンジやラーニングコモンズは、パンチングパネルを通して柔らかな光が入る明るい雰囲気となっており、学生の快適さを追求し、学生が毎日通いたくなる校舎を目指した。

トイレの特長

メンテナンス性に配慮し、大便器、小便器は清掃性のよい壁掛型を採用。小便器はきれい除菌水機能を備えた超節水タイプとし、足元には光触媒の力で防汚防臭・抗菌抗ウイルス効果を発揮するハイドロセラフロアPUを設置している。また、洗面の水栓は衛生的で節水効果も図れる自動水栓を採用するなど、衛生面かつ省エネに配慮した器具選定がなされている。大便器ブースは、間仕切り壁を天井まで立ち上げ、さらに盗撮対策として上部を塞ぐことで、個室感も高められ安心して利用できる。また、学生や講師だけでなく、さまざまな利用者に配慮してバリアフリートイレを設置。車いす利用者への配慮はもちろんのこと、パウチ交換などのケアに利用できる、コンパクトオストメイトパックも完備されている。

建築概要

名称	河合塾千種校 新本館
所在地	愛知県名古屋市千種区今池2-1-10
施主	学校法人 河合塾
設計	株式会社松田平田設計
施工	建築 株式会社鹿島建設 設備 関林工業株式会社

竣工年月	2021年12月
敷地面積	6,791.91㎡
建築面積	1,580.67㎡
延床面積	10,829.67㎡
構造・階数	鉄骨造・地下1階、地上8階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系/ウォシュレットP:TCF589系
ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPR
紙巻器:YH701/自動洗浄小便器:UFS900JCS/洗面器:L5*系
台付自動水栓:TENA41A/コンパクトバリアフリートイレパック:UADA系